

平成 29 年 2 月 21 日

敬天新聞様

日本大学文理学部職員より

日本大学文理学部ビル管理業務の委託業者が田中理事長の一声で日大事業部に急遽変更になりました。

匿名の文書で申し訳ございませんが、是非とも敬天新聞で記事にして頂きたく手紙を送らせていただきます。平成 29 年度日本大学文理学部ビル管理業務委託（いわゆる設備要員を配置し運転管理を行う業務と、設備点検業務の委託になります）の入札を、昨年 12 月 5 日（月曜日）に実施し、(株)ヤエスが落札をいたしました。その後適正なる校内の手続きを経て、(株)ヤエスと契約書を交わすだけとなりました。まさに文理学部事務局長が契約書に印を押す寸前、(株)日本大学事業部より電話があり、ビル管理業務は日本大学事業部がやることになったからと、一方的に通達してきました。

文理学部としては、正式に入札を実施して落札した業者と契約を交わすので、今さら無理だと伝えましたが、田中理事長から「事業部の指示に従え」と一方的に言われました。田中理事長と日本大学事業部の内田や井ノ口のやり方は他の学部から聞いていましたが、まさかここまで強引にやるとは思いませんでした。

他の学部の事業部の仕事ぶりを聞くところには、形だけの契約で、すべて丸投げ、挨拶はもってのほか、打ち合わせにも来ない、何かあったらすべて下請けのせいにし、大学の貴重な財産である施設の管理をなんだと思っているのか。日本大学事業部と田中理事長が委託料のピンハネ分を分け合っていることを考えると、学生に対して顔向けができません。ましてや文部科学省からたくさんの補助金をもらっているのかかわらず、こんなことでよいのでしょうか？これはまさに国の補助金を日本大学事業部を通して、田中理事長に還元するための事業であるとしか考えられません。なお経済学部においても同様の事柄が起こっているそうです。

もはや、我々大学の職員ではどうしようもできない、北朝鮮のような独裁政権であります。

このようなかたちでしか主張ができないことに対し、いら立ちを覚えますが、是非とも敬天新聞にて日本大学事業部と田中理事長の横暴なやり方について追及していただきたく手紙を書きました。何卒よろしく願いいたします。